

# 群馬県営多胡土地改良事業（農地防災）計画書

（ 農 業 用 用 排 水 ）

群 馬 県

# 目 次

第1章	目的	1	第3節	用水計画	15
第2章	地域及び地積	1	1.	計画基準年	15
第1節	地域	1	2.	計画かんがい方式	15
第2節	地積	1	3.	計画用水系統	15
第3章	現況	2	4.	計画用水量	17
第1節	気象	2	5.	水源計画	17
1.	一般気象	2	第5章	主要工事計画	20
2.	特殊気象	3	第1節	用水施設	20
第2節	土地状況	4	1.	貯水池	20
1.	地形、土壌及び侵食の程度	4	2.	頭首工	20
2.	土地分類	5	3.	揚水機	20
3.	土地利用の状況	5	4.	用水路	20
4.	土地所有の状況	5	第6章	付帯工事計画	21
第3節	水利状況	6	第7章	工事着手及び完了の予定時期	21
1.	用水状況	6	第8章	環境との調和についての配慮	21
第4節	道路状況	9	1.	環境との調和への配慮の方針	21
第5節	地域農業の概況	9	2.	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	21
1.	産業別就業人口	9	第9章	換地計画の概要	21
2.	経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況 並びに専兼業別農家数	10	第10章	事業費の総額及び内訳	22
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	11	第11章	効用	22
4.	主要作物作付状況	12	第12章	関連する事業	23
5.	農業の動向	13	第13章	現況・計画図面	23
第6節	地域環境の概況	13	1.	計画一般平面図	23
第4章	一般計画	14	2.	現況計画平面図	23
第1節	事業計画の要旨	14	3.	主要構造図	23
1.	要旨	14			
2.	事業別面積	14			
第2節	営農計画及び土地利用計画	14			

## 第1章 目的

本地区のかんがい用水管路は、南牧川から取水されたのち、南牧導水路、南1号幹線へて南2号幹線から分岐する石綿管を含む農業用管路である。昭和50年に県営かんがい排水事業により整備され、築造後およそ50年が経過している。

本施設は、全線にわたり耕地内に埋設されており、管の老朽化による漏水事故等が発生しており、営農に支障を来している状況にある。

管路は農地内に埋設されており、管路が破損した場合には地域住民の日常生活に支障を来す恐れもあるうえ、石綿にばく露される危険性が高いことから農業者や地域住民への健康被害が懸念されることから、早急に改修する必要がある。

## 第2章 地域の及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

地 域
高崎市吉井町東谷、吉井町塩、吉井町神保

### 第2節 地 積

(平成7年11月現在)

(第2表)

市町村名 \ 現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
高崎市	26.4	15.2	-	-	-	41.6	
計	26.4	15.2	-	-	-	41.6	

### 第3章 現況

#### 第1節 気象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	前橋地方气象台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H3年～R2年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (°C)		24.4	10.3	15	30年間平均値
降水量	平均 (mm)	749.8	497.7	1,247.5	〃
	基準年 (mm)	429.5	450.0	824.0	昭和35年
降水日数	平均 (日)	52	50	102	「1981～2010年」30年間平均値
	基準年 (日)	47	60	107	昭和35年
根雪期間		一月 一日～ 一月 一日 ( 一日間)			
無霜期間		3月 29日～ 11月 21日 ( 237日間)			
最多風向	NNW	最大風速 (風 向)	29.9m/s (NNW)	最多風向発生時期	11月～ 3月
				最大風速発生年月日	明治33年9月28日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		備考
	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	
	1976年～2025年										
最大日雨量(mm)	234.0 2019.10.12		216.5 2011.9.1		201.0 1999.8.14		180.0 2011.8.31		180.0 1982.9.12		
最大時間雨量(mm)	114.5 2019.9.11		71.0 2002.9.4		69.5 2002.8.3		58.5 2001.7.25		57.5 1993.6.20		
最大4時間雨量(mm)	157.0 1997.9.11		137.0 2002.9.4		109.5 2019.7.23		99.5 2019.10.12		99.5 2014.6.30		
最大連続雨量(mm)	364.5 2011.8.31 ～2011.9.5		356.0 1999.8.11 ～1999.8.16		302.0 1982.9.8 ～1982.9.12		291.0 1982.7.23 ～1982.8.3		247.5 2019.10.11 ～2019.10.12		
最大連続干天日数 (日)	27 1997.10.5 ～1997.10.31		24 2001.4.1 ～2001.4.24		21 1977.10.11 ～1977.10.31		18 1985.8.12 ～1985.8.29		17 2009.10.9 ～2009.10.25		

第2節 土地状況

1. 地形, 土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	1/1000以下	1/1000~1/100	1/100~1/20	1/20~1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°以上	計	最高	最低	
傾斜区分															
面積(ha)	-	26.4	-	-	-	26.4	-	15.2	-	-	-	15.2	203	145	
比率(%)	-	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面積 (ha)	備考
	土 壌 断 面								堆積様式	母 材		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層				
					表土	下層土						
				一層	二層	三層						
中割統	黄褐色	なし	なし	なし	SL	SCL	CL	-	崩積	固結水成岩 非固結化生岩	41.6	
計											41.6	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和7年11月現在)

(第4表-3)

土地 利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
高崎市	26.4	15.2	—	—	—	—	—	—	—	—	41.6		
計	26.4	15.2	—	—	—	—	—	—	—	—	41.6		

4. 土地所有の状況

(令和7年11月現在)

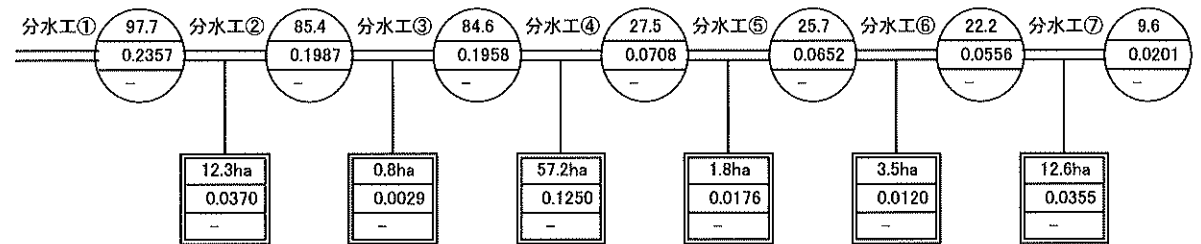
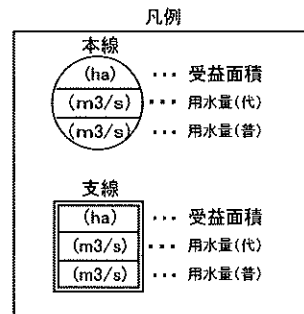
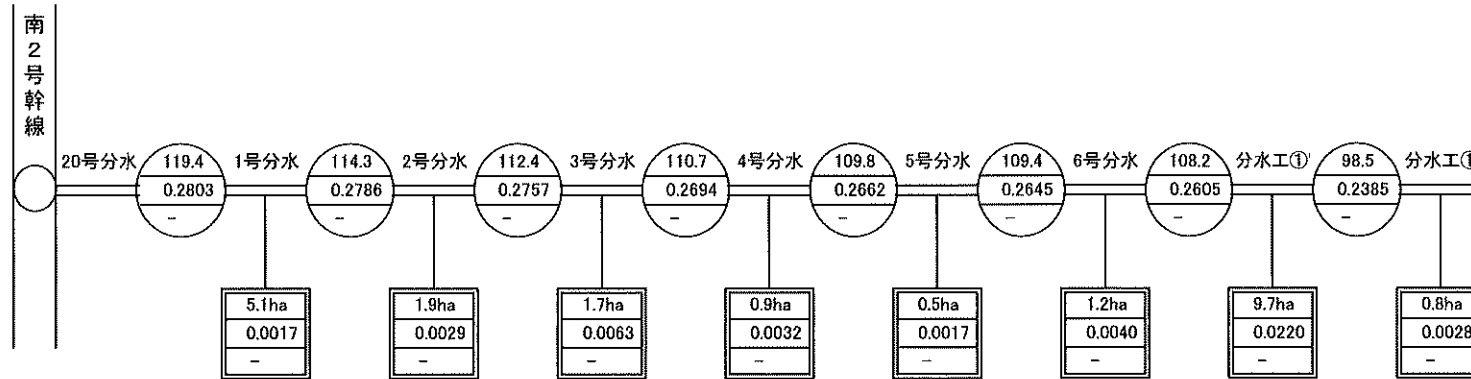
(第4表-4)

	個 人 有	市 町 村 有	県 有	国 有		計	備 考
面 積(ha)	41.6	—	—	—		41.6	
受益者数	184	—	—	—		184	
筆 数 (筆)	535	—	—	—		535	
権 利 関 係	所有権	—	—	—		—	
備 考 (関係戸数)	184					184	

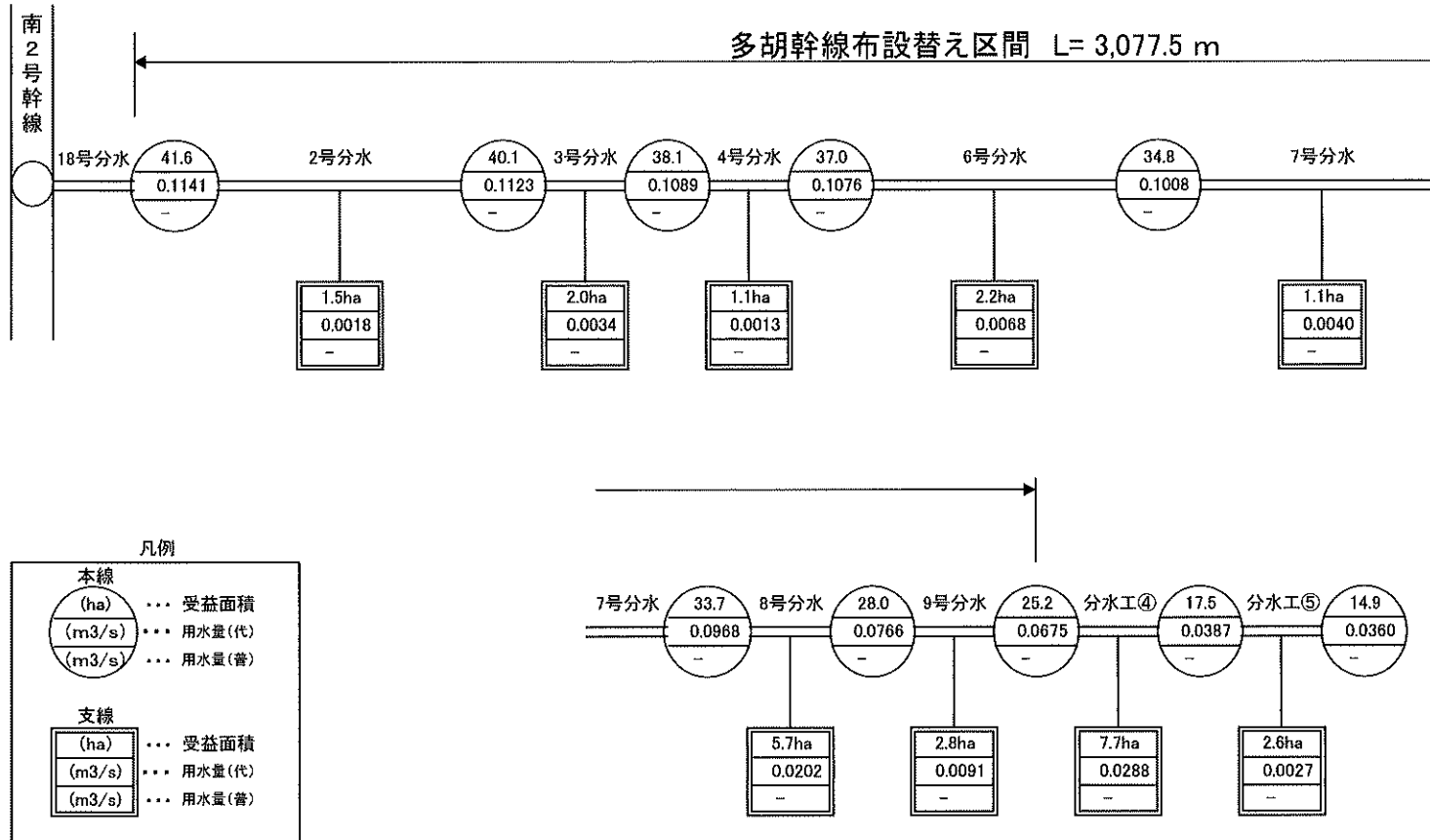
第3節 水利狀況

1. 用水狀況

現況用水系統模式圖



計画用水系統模式図



## (2) 用水施設

## (ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量 m3/s	備考
	500ha以上		500ha~100ha		100ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自然取水口	-	-	-	-	1	41.6	1	41.6	1	0.114	-	-	0.114	
揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	1	41.6	1	41.6	1	0.114	-	-	0.114	

## (イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
貯水池	-	-	-	-	-	-	
井 堰	-	-	-	-	-	-	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	
揚水機	-	-	-	-	-	-	
用水路	多胡幹線	41.6	管水路	L=3,780m	昭和50年	本施設は、石綿管を使用しており、破損等により、石綿にばく露される危険性が高まり、農業者等の健康障害が懸念されることから、石綿を含有しない管製品に代替えし、農業者等の健康保持と農業生産の安定を図る。	
その他	-	-	-	-	-	-	
計		41.6	-	L=3,780m	-	-	

第4節 道路現況

該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

資料：令和2年度国勢調査

(令和7年11月現在)

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通 信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービ ス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備 考
高崎市	180,730	4,155	104	8	14	13,272	33,997	777	11,986	29,638	4,636	3,279	57,294	5,953	15,617	
計	180,730	4,155	104	8	14	13,272	33,997	777	11,986	29,638	4,636	3,279	57,294	5,953	15,617	
比率(%)	100.0	2.3	0.1	0.0	0.1	7.3	18.8	0.4	6.6	16.4	2.6	1.8	31.7	3.3	8.6	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

資料：2020センサス（令和7年11月現在）

（第7表-2-1）

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営農地広狭別農家数 (戸)										自給的農家	例外規定 の適用を 受けるもの
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上		
高崎市	2,574	113	585	976	413	163	113	63	32	18	10	88	-
計	2,574	113	585	976	413	163	113	63	32	18	10	88	-
比率(%)	100.0%	4.4%	22.7%	37.9%	16.0%	6.3%	4.4%	2.4%	1.2%	0.7%	0.4%	3.4%	-

資料：2015 2020センサス（令和7年11月現在）

（第7表-2-2）

区分 市町村名	1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専兼別農家数 (戸)			備 考
	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり 団地数	団地当 り面積 (ha)	専 業	兼 業		
										第 一 種	第 二 種	
高崎市	0.61	0.41	0.18	1.20	0.00	1.20	-	-	380	250	1,877	
計(平均)	0.61	0.41	0.18	1.20	0.00	1.20	-	-	380	250	1,877	
比率(%)	50.8%	34.2%	15.0%	100.0%	0.0%	100.0%			15.2%	10.0%	74.9%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

資料：2015、2020センサス（令和7年11月現在）

（第7表-3）

項目 市町村名	動力農機具							主要家畜						備考	
	乗用トラクター		田植機		自脱型コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚				
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)			
高崎市	3,386	2,872	2,205	2,159	1,748	1,692			1,870	26	-	-	31,565	20	
計	3,386	2,872	2,205	2,159	1,748	1,692			1,870	26	0	0	0	20	
100戸当たり 数量(台,頭)	132		86		68				73		0		0		
利用戸数 割合(%)	111.6%		83.9%		65.7%				1.0%		0.0%		0.8%		

※2020センサスには動力農機具データがないため、2015センサスのデータを用いた。

4. 主要作物作付状況

資料：令和5年統計年報・2020センサス（令和7年11月現在）

（第7表-4）

市町村名			高崎市				計		平均		作付率 (%)	備 考
総農用地面積(ha)			2,975				2,975					
総本地面積(ha)												
作物名	区分	作付面積		単位面積 当たり収量		作付面積		単位面積 当たり収量		作付面積	単位面積 当たり収量	
		(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)			
田	表作	水稻	795	504					795	252	27	(水稻)
	裏作	麦類										
小計			795					795		27		
畑	野菜(露地)		360	11,107					360	5,554	12	(きゅうり等)
	野菜(施設)		46	5,385					46	2,693	2	(なす等)
小計			406					406		14		
樹園地	果 樹		442	1,240					442	620	15	(キウイフルーツ)
									0	0	0	
計			1,643					1,643		55		
市町村別延作付率(%)												

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の 状 況  C年を 100 とする 指 数	総農家数	93	40	耕地	97	82	水稻	100	89	乳用牛	78	-	トラクター	94	66	A：平成27年 (2015年農業センサス) B：平成22年 (2010年農業センサス) C：平成17年 (2005年農業センサス)  B, C年においては 販売農家を中心と する統計データ で、A年では統計 項目が変わったの で主要作物、畜 産、動力農機具は 比較できない  2020農業センサス では全ての統計結 果が出ていないた め上記での検討と した。
	専業農家数	111	103	田	98	82	麦類	88	40	肉用牛	91	-	動力 防除機	-	-	
	第一種兼業 農家数	50	49	畑	98	84	いも類	62	61	豚	74	-	田植機	94	61	
	第二種兼業 農家数	84	55	樹園地	90	76	豆類	106	64	採卵鶏 (百羽)	-	-	自脱型 コンバイン	119	76	
	農業 従事者数	83	83				野菜類	110	-	ブロイター (百羽)	-	-				
変化の 理由	社会経済の変化			農地転用による			水稻の生産調整 転作の奨励による			生活環境、食肉需要の 変化による			労力の減少に伴う 機械化省力営農の 定着			
地域指定等				農振指定：S47.10.3			野菜指定産地			冬春きゅうり：S41.8.18			夏秋きゅうり：S46.6.30			
				計画策定：S47.8.30						夏秋なす：H27.2.6						

第6節 地域環境の概況

本地域は、高崎市の田園環境整備マスタープランの環境配慮区域にある。高崎市の中央部に位置し、水田を中心とした田園風景を形成している地域である。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本施設は、鑄川土地改良事業の一環として実施された、鑄川幹線水路より分水し、末端ほ場へ導水する管路として昭和50年に築造された農業用管水路である。当時のパイプライン工事では、安価で施工性の優れていた石綿セメントが多く使用されていた。

築造後47年が経過し、耐用年数を迎える時期となり、脆弱化が進行していることもあり、近年、漏水補修も頻繁に行われている。

このことから石綿管を含む農業用管水路の破損等による石綿に起因する影響を未然に防止するため、早急に石綿を含有しない製品に代替えし、農業者等の健康保持と農業経営の持続的発展を図るものである。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

土地利用 区分 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
用水改良	26.4	15.2	—	—	41.6	
計	26.4	15.2	—	—	41.6	

### 第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なし

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

昭和35年 (利根川基準年)

#### 2. 計画かんがい方式

##### (イ) かんがい期間

代かき期 6月 6日～ 6月20日

普通期 6月21日～ 9月 5日

##### (ロ) かんがい方式

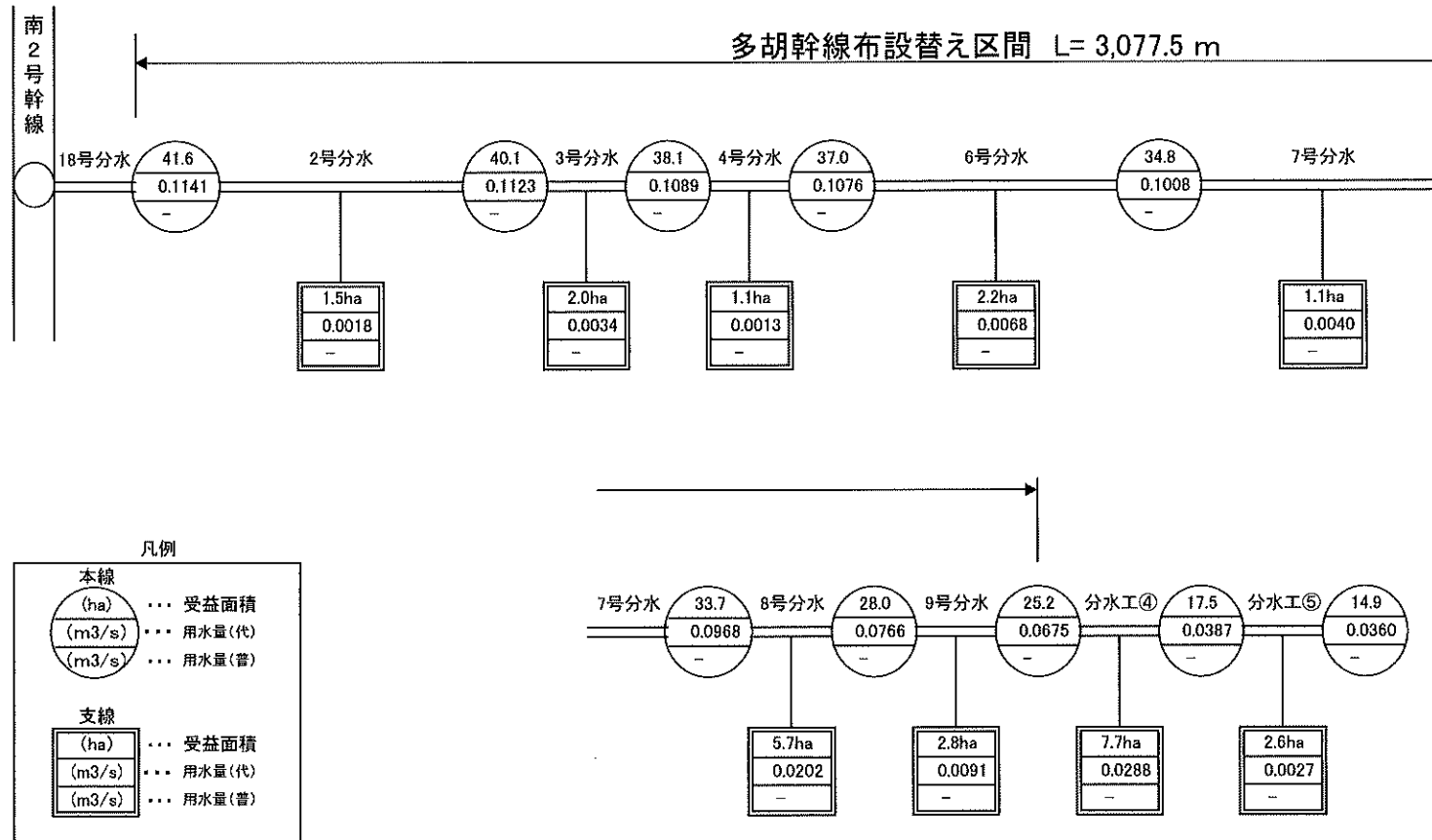
現況と同様、自然圧送によるパイプライン方式とする。

#### 3. 計画用水系統

既存用水路の改修であるため、現況と同様とする。

(次頁参照)

計画用水系統図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-

系統名	項目 種別	面積 (ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量	
				普通期	代播期	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (m <sup>3</sup> / 日)	面積 (ha)			平均 (m <sup>3</sup> / s)	最大 (m <sup>3</sup> / s)
		計画平 均単位 用水量 (mm/ 日)	計画代 播単位 用水量 (mm/ 日)	平均	最大													
		計	計画平 均単位 用水量 (mm/ 日)	計画代 播単位 用水量 (mm/ 日)	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/ 日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	計画平 均単位 用水量 (m <sup>3</sup> / 日)	面積 (ha)	消費水量 (m <sup>3</sup> / s)			損失率 (%)	平均 (m <sup>3</sup> / s)
多胡地区	農業用水		41.6	-	-	26.4	-	-	-	-	-	15.2	-	-	-	15	0.114	0.11

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

- ・ 損失率 : 散水ロス 15%

(第10表-2-2-1)

区分	現 況 (m <sup>3</sup> /s)		計 画 (m <sup>3</sup> /s)		備 考
	代掻期	普通期	代掻期	普通期	
純用水量	0.099	0.099	0.099	0.099	
有効雨量	—	—	—	—	
損失水量	0.015	0.015	0.015	0.015	
全用水量	0.114	0.114	0.114	0.114	
利用 可能 量		0.114	0.114	0.114	
	計	0.114	0.114	0.114	
不足量	0.000	0.000	0.000	0.000	

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当無し

(イ) 井堰及び自然取水口

該当無し

(ウ) 揚水機

該当無し

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (h a)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /S)	延長 (m)	構造	備考
	田	畑	計				
幹線水路 支線水路	26.4	15.2	41.6	0.114	3,780.0	塩化ビニル管φ250～ 塩化ビニル管φ350	

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

(1) 貯水池  
該当無し

(2) 頭首工  
該当無し

(3) 揚水機  
該当無し

(4) 用水路

項目 名称	かんがい面積			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	田	畑	計		開渠	トンネル・その他	計				
幹線水路 支線水路	26.4	15.2	41.6	0.114		3,780.0	3,780.0	塩化ビニル管φ250～ 塩化ビニル管φ350			

## 第6章 付帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和8年度

完了 令和12年度

## 第8章 環境との調和への配慮

### 1. 環境との調和への配慮の方針

動植物の生息環境や生態系の保全に配慮するとともに、「高崎市田園環境整備マスタープラン」の自然と歴史を生かしながらさらに住みよい地域を目指す。

高崎市では、平成30年度に第6次総合計画「変革する高崎」が策定され、平成30年度から10年間における都市づくりの理念、施策の基本方針を定め、市民と行政の協働による計画的なまちづくりをすすめている。

### 2. 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

- ・施工前は、管敷設箇所及び周辺の生き物調査を実施し、希少種等が発見された場合は専門家の意見を聴取し代替生息域を確保する等の適切な対応を行う。
- ・施工ヤードや資材置き場は必要最小限とする。
- ・過度な踏みつけが想定される場合、施工中は仮設シートで覆うなどの保護対策を実施する。
- ・予め工事残土の搬出場所を決定し、現地に長期間野積みすることのないよう留意するほか、搬出場所は自然環境への影響が小さい場所を選定する。  
また、路面が土埃等で汚れた場合にまた、は適切に清掃処理を行う【影響の軽減】。
- ・事前調査の結果、絶滅危惧種のような希少動植物の生息は確認されていない。
- ・石綿セメント管撤去工事では、作業員の教育、関係者以外の立ち入り禁止措置、粉じん飛散防止対策、撤去した管の処理を徹底して行う【影響の軽減】。

## 第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

事業名	農地防災事業	備考
工事費	498,000	令和7年度単価
主要工事	498,000	
附帯工事	—	
事務費	24,900	
計	522,900	

第11章 効用

(第27表-1)

区分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備考
作物生産効果	48,029	48,403	効果算定年度 令和7年度
営農経費節減効果	230		
維持管理節減効果	△ 802	1,604	
災害防止効果(農業部門)	8,020		
災害防止効果(一般部門)	9,433		
災害防止効果(公共部門)	141		
国産農産物安定供給効果	4,672		
計	69,723	50,007	

(参考) 総費用(現在価値) 1,004,552 千円  
 総便益額(現在価値) 1,439,710 千円  
 総費用総便益比 1.43

第12章 関連する事業

事業名	事業主体名	受益面積	総事業費	事業内容	関連事由
かんがい排水	国	2,635 h a	3,230,000 千円	頭首工 3箇所 揚水機場 1機 貯水池 3箇所 用水路 30km	本事業区域は、この事業の 用水受益であり、一部区間 を本事業で更新し、機能回 復を図る。

第13章 現況・計画図面

1. 計画一般平面図・・・・・・・・別紙添付図面のとおり。
2. 現況計画平面図・・・・・・・・別紙添付図面のとおり。
3. 主要構造図・・・・・・・・別紙添付図面のとおり。

# 県営農村地域防災減災事業（特定農業用管水路等特別対策）

## 多胡地区 計画一般平面図

縮尺 1/25,000

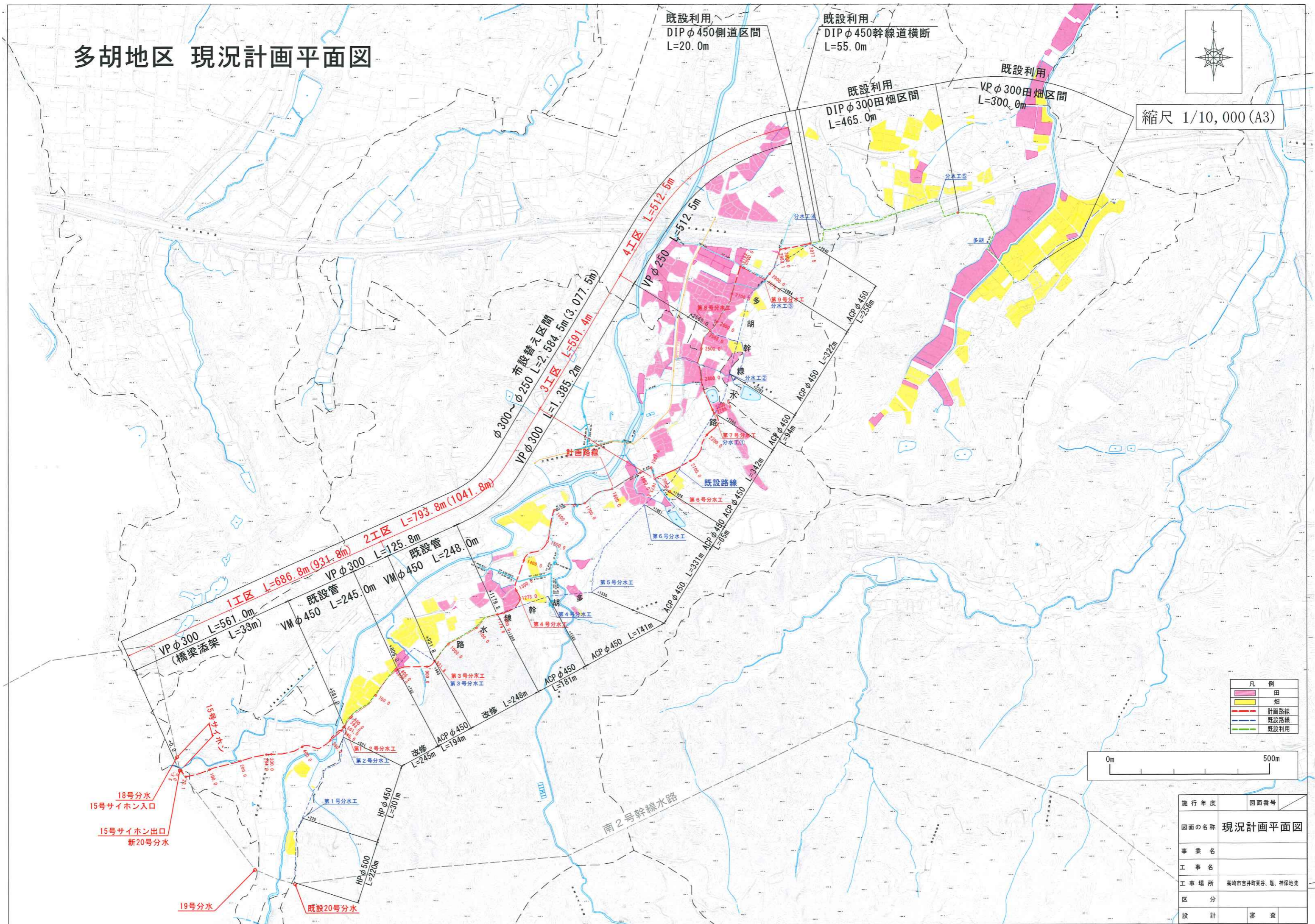
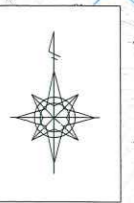


事業費：498,000千円  
工期：R8～R12  
事業主体：群馬県

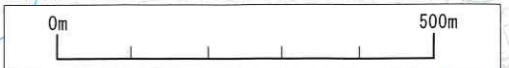
凡例	
	受益地(田)
	受益地(畑)
	計画管路
	既設管路
	旧管路

# 多胡地区 現況計画平面図

縮尺 1/10,000 (A3)



凡例	
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	田
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span>	畑
<span style="display:inline-block; width:10px; border-bottom:1px solid red;"></span>	計画路線
<span style="display:inline-block; width:10px; border-bottom:1px solid blue;"></span>	既設路線
<span style="display:inline-block; width:10px; border-bottom:1px solid green;"></span>	既設利用

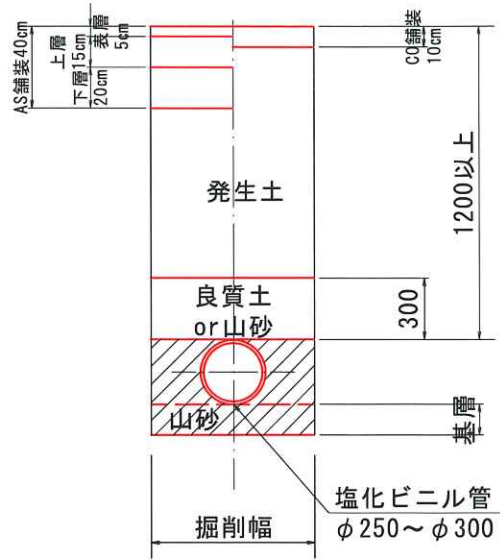


施行年度	図面番号
	現況計画平面図
事業名	
工事名	
工事場所	高崎市吉井町東谷、埴、神保地先
区分	
設計	審査

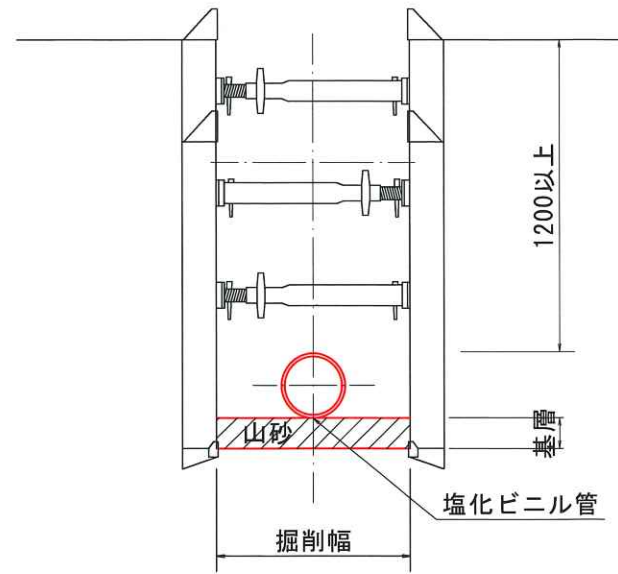
主要構造図

多胡地区

標準断面図 S=1:25



たて込み簡易土留工 S=1:25



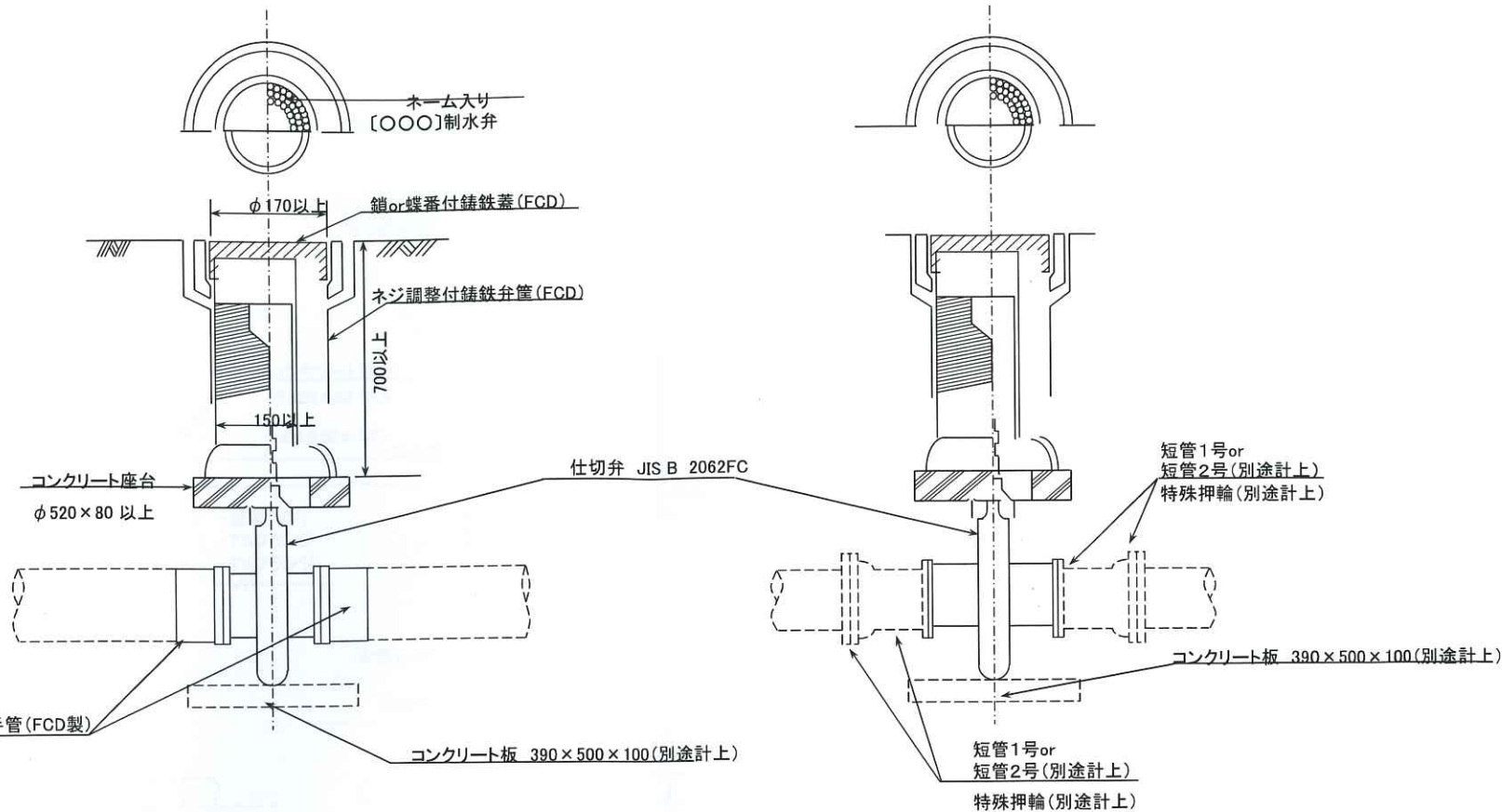
図面の名称	図面番号
管路工断面図	

凡  
例



### 塩ビ管路

### ダクタイル管路

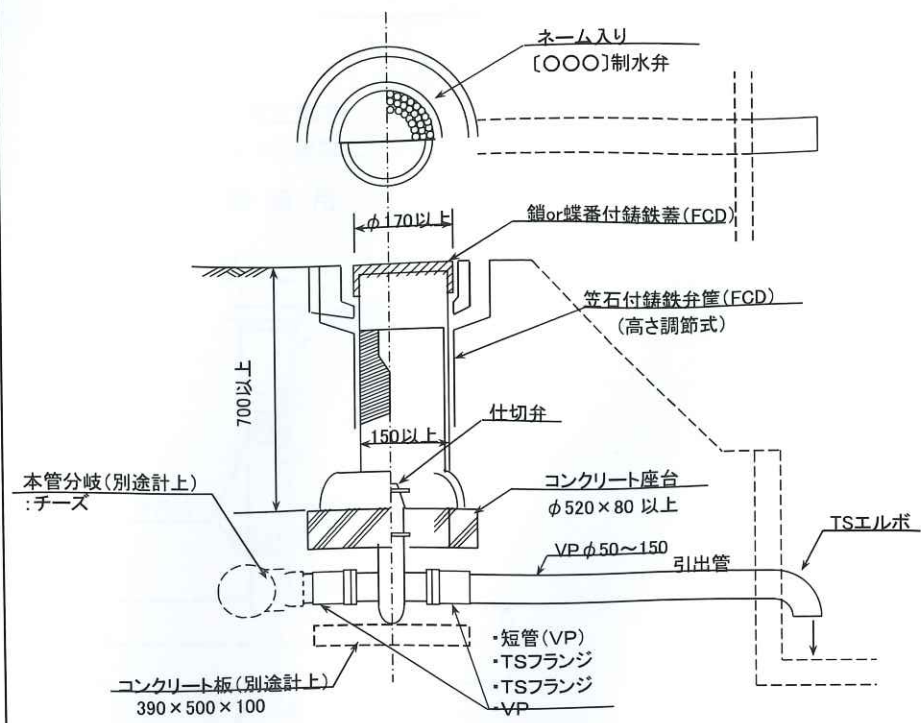
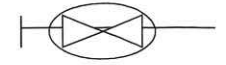


	種別	規格	単位	塩ビ管路	ダクタイル管路	備考
本土工	仕切弁	JIS B 2062FC	ヶ	1	1	
	離脱防止付片フランジ継手管 (FGD製)		本	2	—	
保護工	弁筐	鑄鉄製	式	1	1	座台共
		90×90×600	本	—	—	必要により設置

- 注) 1. 回転方向は、「の締め」とする。  
 2. 弁筐天端は、路面と一致するよう管理設深を調整する。  
 3. 制水弁の上流直管は切り管を使用せず、1本物を使用することを原則とする。また、離脱防止金具は設計条件を検討し、使用個数を決めること。

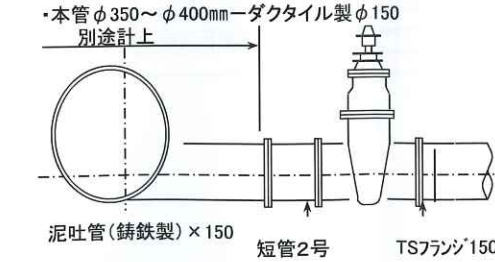
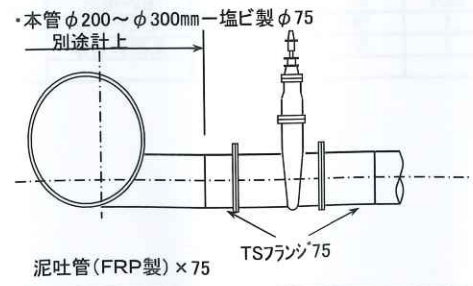
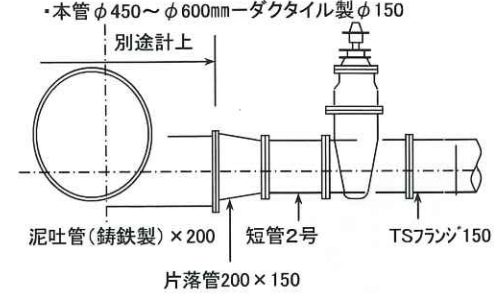
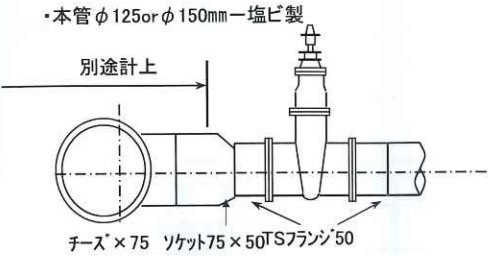
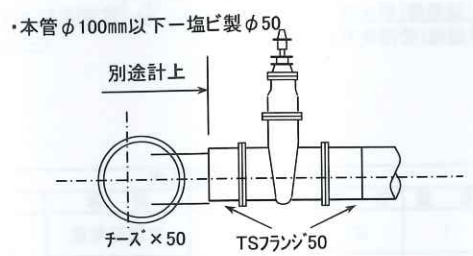
図面の名称	図面番号
制水弁 (仕切弁)	

凡例



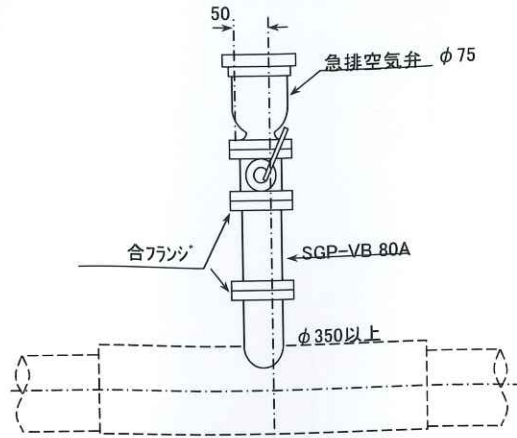
種別・規格	単位	排泥弁φ50	排泥弁φ75	排泥弁φ150	排泥弁φ150	備考	
		本管・塩ビ φ150以下	本管・塩ビ φ200~φ300	本管・ダクタイル φ350~φ400	本管・ダクタイル φ450~φ600		
本体内	制水弁	φ 50	1(1)			塩ビ	
		φ 75		1		塩ビ	
		φ 150			1	1	FC製
	塩ビ管	VP φ 50	3(3)				
		VP φ 75		3			
		VP φ 150			2	2	
	TSエルボ	φ 50	1(1)				
		φ 75		1			
	TSフランジ	φ 150			1	1	
		φ 50	2(2)				
ソケット	φ 75		2				
	φ 150			1	1		
保護工	短管2号	φ 75×φ 50	(1)				
	片落管	φ 150		1	1		
	特殊押輪	φ 200×φ 150				1	
	特殊押輪	φ 200				1	
弁篋	φ 150			1	1	1	
弁篋	鑄鉄製	式	1(1)	1	1	1	座台共

(注) 1. ( )は、φ125mm or φ150mm—塩ビ製の場合。  
2. ダクタイル管の場合は、特殊押輪で接合すること。



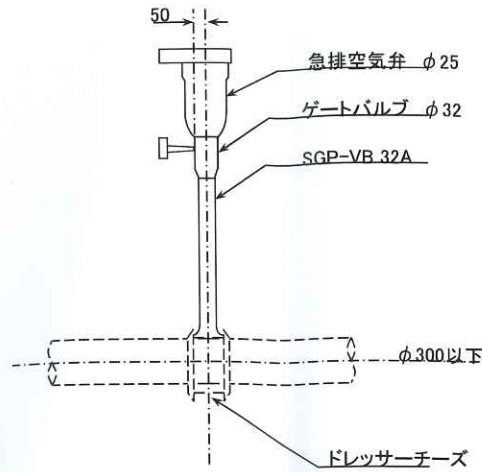
図面の名称	図面番号
排泥弁	

大型空気弁  
(φ350mm以上)  
路面用



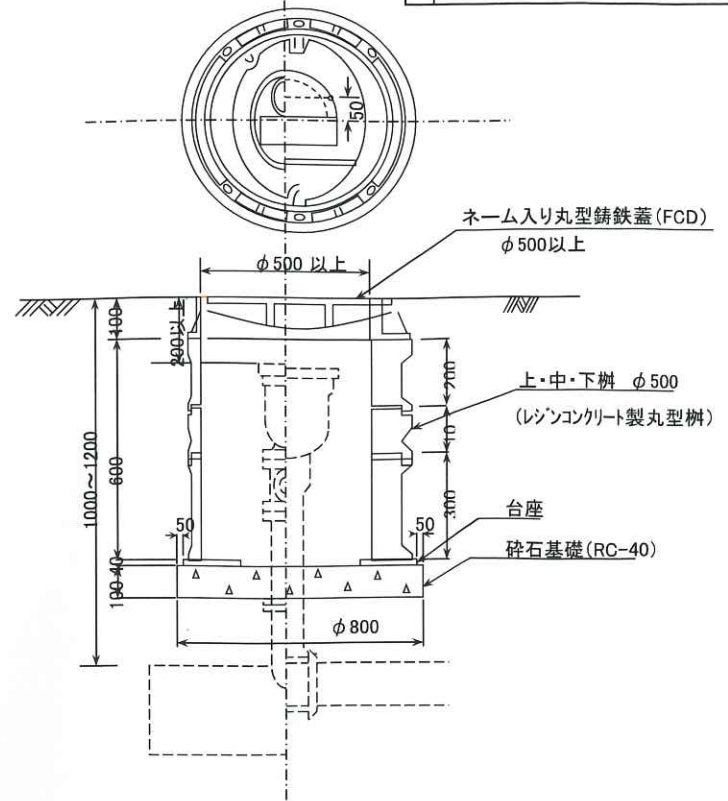
1フランジT字管×75 (FRP製) 埋込管路  
フランジT字管×75 (鑄鉄製) or 仕切弁副管 (鑄鉄製) (別途計上)

小型空気弁  
(φ300mm以下)  
路面用



空気弁保護工 (路面用)

凡	大型	-----□-----
例	小型	-----□-----



名称	規格	単位	数量
急排空気弁	(JIS B 2063) 副弁付	台	1
SGP-VB	80A	m	0.25
合フランジ	80φ上水規格	枚	2
取付付属品		式	1

名称	規格	単位	数量
急排空気弁	25φ	台	1
SGP-VB	32A	m	0.5
ゲートバルブ	32φ	ヶ	1
取付付属品	フック等	式	1

名称	単位	数量		摘要
		T-14	T-25	
鑄鉄蓋	式	1	—	
レジンコン樹	本	1	1	φ500 台座+上樹+下樹
碎石基礎	m <sup>2</sup>	0.500	0.500	RC-40 t=10cm
標示杭	本	—	—	9×9×60cm (ネ-ム入)

図面の名称	図面番号
空気弁	